



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司
 (JASDAQ・コード 8705)
 問合せ先
 役職・氏名 取 締 役 杉 本 卓 士
 電 話 03-5543-8705

平成 29 年 3 月期通期の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前期実績 (平成 28 年 3 月期) (A)	3,295	△679	△586	330
当期実績見込み (平成 29 年 3 月期) (B)	2,840	△698	△678	△858
増 減 額 (B-A)	△455	△19	△92	△1,188
増 減 率 (%)	△13.8	—	—	—

(注) 当連結会計年度より表示方法の変更を行っております。

前期実績につきましては、当該表示方法の変更を遡及適用した組替え後の数値を記載しております。

2. 差異が生じた理由

当連結会計年度のわが国経済は、公共投資や設備投資が底堅く推移し、また輸出の増加により生産が回復したことから、企業収益が改善し、雇用も堅調となり、個人消費が伸び悩むなど一部に改善の遅れが見られるものの、おおむね回復基調を維持しました。

商品市況は、貴金属が英国のEU離脱決定を受けて上昇後、米国の利上げ観測とドル高に伴って反落し、利上げ実行後は米国新政権のドル高けん制により反発しました。原油はOPECを中心とした産油国の協調減産で上昇し、穀物は南米の不作による上昇から米国の記録的な豊作で下落に転じました。これらの背景から、全国市場売買高は51,632千枚（前年同期比97.2%）となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料につきましては、主力である貴金属市場の受取手数料が落ち込んだこともあり、2,325百万円（前年同期比85.8%）となりました。また、売買損益につきましても72百万円の利益（前年同期比63.0%）にとどまりました。

この結果、営業収益は2,840百万円（前年同期比86.2%）となる見込みであります。また、販売費及び一般管理費は、3,538百万円（前年同期比89.0%）となる見込みであります。これらにより、営業損失は698百万円となり、経常損失は678百万円をそれぞれ計上する見込みであります。これに加えて固定資産の減損損失79百万円および訴訟損失引当金繰入額42百万円を特別損失に計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純損失は858百万円となる見込みであります。

以 上